

福岡県 高校入試情報

令和7年度福岡県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数は例年どおり6問、小問数は昨年より2問増えて27問。
- 大問1は各領域からの基本問題、大問2はデータの活用と箱ひげ図、大問3は方程式の利用(会話形式)、大問4は関数の利用、大問5は証明を含む平面図形の総合問題、大問6は三平方の定理と空間図形の問題。
- 大問2では、3つの累積相対度数を計算して比較する問題が出た。示されたデータを的確に読み取り処理する能力が求められる。
- 例年、グラフをかく問題、解法の過程を書く問題や説明、図形の証明など、記述形式の問題が出題されているので、対策が必要である。

★福岡県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ 証明問題の出題

・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

新研究で対策！

- 「ウォームアップ特集 合同の証明」(p.82～83)、「フォロー特集 マチガイから学ぶ！答案の書き方のコツ～図形の証明～」(p.96～97)で、証明のポイントや、証明の書き方のコツを詳しく解説しています。また、「共通部分を見つけよう！合同と相似の証明」(p.182～183)で、集中強化できます。

■ 三平方の定理を利用した問題の出題

・体積や面積などの三平方の定理を利用した問題が例年出題されている。円周角の定理と組み合わせた問題もよく出題されるので、対策が必要である。

新研究で対策！

- 「チャレンジ！平面図形と空間図形の総合問題」(p.186～187)で、三平方の定理を利用する問題を集中強化することができます。

会話文や長文の問題もあるので、必要な情報を確実に読み取る練習をしておこう。



★福岡県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容				
	正の数・負の数	●	●	●	●
	文字と式		●		
	方程式		●		●
	比例と反比例	●	●	●	●
	平面図形			●	
	空間図形	●	●	●	●
	データの分析と活用	●	●	●	●
	2年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	連立方程式				
	1次関数	●	●	●	●
	図形の調べ方	●	●		●
	三角形			●	
	平行四辺形				
	確率	●	●	●	●
	データの比較と箱ひげ図	●	●	●	●
	3年内容				
	式の計算	●		●	●
	平方根	●	●	●	●
	2次方程式	●	●	●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
	相似な図形	●	●	●	●
	円の性質	●	●	●	●
	三平方の定理	●	●	●	●
	標本調査	●	●	●	●
出題形式別の傾向	大問数	6	6	6	6
	小問数	22	24	25	27
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1
		その他の説明・証明など	2	1	1
		立式・解法の過程の記述		1	
		作図(図形)			
	作図(グラフ)	1	1	1	1

★新研究で出題した福岡県の入試問題(令和7年度)

p.61大問1(2),p.173大問3